

小学校中核教員外国語活動実践研修事業

小学校の先生方全員を対象に、7月下旬から県内各学校で開催された校内研修会等で活用いただいた本事業は3月3日をもって終了しました。

特別支援学校での研修を含め203回の研修会が実施され、延べ5,000人を超える先生方が研修を受けられました。先生方からは、普段招聘することが難しい外国語活動に詳しい著名な先生方に御指導いただいたり、身近な講師に継続して指導していただいたりして、大変勉強になったと好評でした。

【美祢市立大嶺小学校での研修の様子】



直山木綿子文部科学省教科調査官が小学校5年生で Lesson 9 「ランチ・メニューを作ろう」を教材に示範授業をされ、その後講演をされました。

子どもたちのエネルギーに呼応しながら、巧みに意欲を引き出しつつ、子ども一人ひとりの反応を冷静に受けとめ、当意即妙に対応されている様子に参加者は感嘆の表情を浮かべていました。

指導講話では、御自身の授業の解説をとおして、子どもの見取りのポイント、指さしゲーム、ダイナソーゲームなど実施された活動の留意点、担任の役割、小・中学校におけるねらいの違いなどについて具体的にお話いただき、外国語活動における授業づくりのポイントが容易に理解できました。

【田布施町立東田布施小学校での研修の様子】



上関町、田布施町、平生町、周防大島町4町の指導主事が協力して研修会が進められました。

上関町教育委員会の渡部靖徳課長補佐が田布施町立田布施中学校岡田早苗教諭とTTで、中学校との円滑な接続を考え、小学校6年生で英語ノート2 Lesson 1 That's right. 「アルファベットで遊ぼう」を教材として授業をされました。その後、鹿児島純心女子大学学部長影浦攻教授が授業を踏まえた講演をされました。小学校段階では、中学校の授業のように、覚えてから使うのではなく、楽しんで使いながら自然に慣れ親しみ、知らず知らず覚えることが重要であると具体例を挙げながら、分かりやすくお話いただきました。

移行措置期間最終年度を有意義に

外国語活動全面実施に向け、移行措置期間最終年度がまもなくスタートします。各学校においては、研修体制・計画の準備が着実に進められていることと思います。

これまでも、各学校の校長先生のリーダーシップの下、研修主任、担当教員を中心に計画的に研修が実施されてきたことと思いますが、最終年度は特に全校体制で、計画的に充実した研修を進めていただきますようお願いいたします。

平成20年度は年間3時間程度、平成21年度は年間12時間程度の研修をお願いしていましたが、平成22年度は年間15時間程度の研修を実施していただきますようお願いいたします。

以下に研修計画の例を紹介しますので、各学校の実態や要望に応じた研修会になるように参考にしてください。

<研修計画例>

項目	時間	内容等
授業研究(1)	3時間	担任単独の授業公開(5年生又は6年生) 指導案検討(1時間) 授業参観(1時間)・研究協議(1時間) ※授業研究(2)、(3)も同様
年間指導計画の作成・修正	1時間	学校や学年の実態に合っているか等について検討
授業研究(2)	3時間	担任とALTとのTT公開
教材作成(1)	1時間	絵カード等教材・教具の作成、整理
実技研修(1)	1時間	電子黒板の操作
実技研修(2)	1時間	発音、チャンツ、歌、クラスルーム・イングリッシュ等の練習 ※職員朝礼や職員会議の最初10分や15分の実施も可能
実技練習(3)	2時間	ゲームの実施や工夫
授業研究(3)	3時間	担任単独の授業公開(5年生又は6年生)

平成22年度小学校「外国語活動」の円滑な導入に係る研修

下記の期日に小学校外国語活動に係る研修を実施する予定です。

積極的な参加をお願いします。

【県教委と市教委等が共催で実施する研修】

期 日	開催地	内 容
平成22年 6月18日(金)	山口市	授業公開・研究発表・講演(教科調査官)等
平成22年 7月28日(水)	周南市	同 上
平成22年 8月24日(火)	下関市	同 上
平成22年 8月25日(水)	萩市	同 上
平成22年11月19日(金)	山口市	小中の円滑な接続に焦点を当てた研修(教科調査官)等

【やまぐち総合教育支援センターが実施する研修】

期 日	開催地	内 容
平成22年 7月30日(金)	山口市	講義・演習・協議・事例発表等
平成22年 8月 2日(月)	岩国市	同 上
平成22年 8月 9日(月)	萩市	同 上

※詳細については別途連絡します。また、予定であり変更の可能性もあります。